



ユーラシアンホットライン

VOL-6

1998年5月発行

◆ユーラシアンフォーラム4月例会の報告◆

ユーラシアンクラブでは月に一度定期的に、国立オリンピック記念青少年総合センターにて情報交換・懇談を目的にフォーラムを開催しています。4月は12日(日)に行われ、その席上、サハ(ヤクート)の留学生アンドレイさん(男)とナターリアさん(女)が、「サハの地理・経済・言語およびシャーマニズムと生活」について発表しました。

はじめ10分間くらいはサハ共和国についての地理など一般的な内容で、言語学が専門のナターリアさんはさらに、サハ言語についての高度なレクチャーをしてくれました。参加者一同、突然のサハ語会話教室に慌てつつも、生まれて初めて聞く言葉に対する興味から、大いに理解を深めました。後半は一転して、人々の暮らしや、「いつまでも腐らないシャーマンの死体」の話など、くだけたわかりやすいお話で、話し手も聞く方も時間を忘れました。

参加人数が少なく、しかし内容は濃く、情報を独占しているようで申し訳ないほどでした。



<左から:アンドレイさん・ナターリアさん・大野さん>

◆ユーラシアンフォーラム5月例会の報告◆

さる17日に開かれた5月例会には25人が出席し、さまざまな興味深い話に耳を傾け、一同充実した一日を過ごしました。内容は、

◆岩間典夫氏(文化講座講師) 「オロチョンとの交流、協力について」

◆僧侶の寺沢氏 「チェチェンにおける平和活動」

◆留学生発表 モロドガジエフ・リスベク氏

(キルギスからの留学生・青山学院大学大学院博士課程)

「キルギスタンと中央アジアの統合過程」



<大野さん(左)と岩間さん>

岩間さんは、オロチョン族の地でのご自分の暮らしの様子を「結婚式ではラーメンを二つ用意し、新郎新婦がそれぞれ半分づつたべ残りを交換し合う」「木の穴で冬眠中の熊が外のものを中に引き込む習性を利用して、木の棒とナイフだけで熊をしとめる」「馬に肉食するようにしつける」などのユニークなエピソードを交えながらわかりやすくお話されました。また、オロチョンとアイヌの間で姉妹関係を築くことにもふれられました。寺沢さんは、はじめにヨーロッパ中心の見方をやめ「はざま」である中央アジアが文明形成に果たした役割に注目すべきことにふれ、ついで支配・被支配の関係など現代の問題が凝縮されている象徴的な場所としてチェチェンを取り上げ、とくに仏教徒として反戦運動に参加した体験をお話されました。また、チェチェンから子供たちの伝統舞踊・音楽のグループを日本に招聘したい希望もお有りだそうです。リスベクさんは、大学での研究でお忙しいなか、日本ではあまり耳にしない現在進行中の中央アジア諸国の統合の問題について、整理立ててお話されました。これらは追って会報にてくわしくご報告します。

◆ユーラシアンフォーラム6月例会についてのご案内◆

日時:6月14日(日) 午後2時 ~4時半頃

場所:国立オリンピック記念青少年総合センター 小田急線「参宮橋」駅 徒歩5分

*急行・準急は止まりませんのでご注意ください。 *センターは現在工事中ですので北門からおはいりください。

内容:カムシュベク・オムルザコフ氏(キルギス共和国議会)

「キルギスタンの経済改革」

ザヒドフ・ムザファール氏(在日ウズベキスタン大使館一等書記官)

「ウズベキスタンと日本の交流」

ぜひおでかけください。参加希望・お問い合わせはクラブ事務局まで。

◆シカチアリヤンとウズベキスタンを訪問◆

大野は、5月1日から4日までロシア極東地方の少数民族ナナイの民族村シカチアリヤン、4日から13日までウズベキスタンのフェルガナ地方アンディジャン市を訪問しました。

シカチアリヤンは、村の要望とクラブキャンプの管理問題で村民と話し合うため、その詳細は下段をご覧ください。

ウズベキスタンの訪問は、福岡市が9月に予定している国際文化交流イベント「アジアマンス」に招聘したい芸能グループ「スマラク」の技術調査が目的でしたが、16人を招聘することが決まりました。今後中央アジアシルクロードの歌舞団を継続的に招聘することも決まりました。福岡市とも話し合いが進展しており、今回の来日がうまくいけば、来年度以降もユーラシア芸能祭の招聘候補芸能団として登録したいと考えています。

＜シカチアリヤン・クラブキャンプ地の速報＞

ユーラシアンクラブのロシア極東ハバロフスク地方での拠点であるシカチアリヤン村のクラブキャンプ地の所有権を、悪意の第三者に阻害されて裁判となっている件について、去る5月2日に訪村した大野遼氏に、ハバロフスク区助役G・タチヤナ氏、ハバロフスク地方裁判所判事Y・カルピーキ氏、コサック協会顧問弁護士マルス氏が遠路来訪して事情聴取した結果、当会が永年同権を所持してきた事実を認め、当会にキャンプ地の村との共同運営を条件に、悪意の第三者の排除が裁定される見通しとなった。

さらに幸いなことに、タチヤナ助役によりハバロフスク区地方政府は、今後ユーラシアンクラブのこの地方での活動を全面的に支援・支持するべく確約してくれた。

◆ユーラシア芸能祭を開催◆

新潟県・小出郷文化会館で今年も芸能祭「ユーラシア・コミュニケーション・フェス」を昨年に続き、今年も開催します。日程は7月25日～26日の予定です。現在検討中の出演者は、

内モンゴルの歌手、オドバルを中心に舞踊、馬頭琴を加えたアンサンブル / ロシア・サハ自治共和国のハトゥラーエフ夫妻 / ウイグルのアマチュア歌舞グループ / 北海道浦河町のアイヌ文化保存会の芸能グループ / 小出郷の地元芸能グループ

2日目は、野外で開催される雪祭り会場でコンサートを行うほか、アイヌの民族料理の試食も盛り込まれる予定です。

昨年同様、東京からバス2台で在京留学生、クラブの会員を中心に参加、温泉と野外キャンプも楽しむことにしています。申し込みを希望する人は、クラブまで問い合わせてください。

参加費: 13000円 留学生3000円 (往復交通費・夕食代・コンサート代)

◆7月11日午後2時から、恒例の暑気払い◆

クラブの総会を兼ねたユーラシアンクラブ恒例の暑気払いを7月11日午後、池袋の東京芸術劇場大会議室で開催します。

今回から、ユーラシアンフォーラムの留学生らで企画運営を検討したいと考えています。

他団体紹介コーナー

<地球と話す会>

熟年層を中心におもにシルクロードを舞台にライフワークを実践している市民サークルです。

～催し物のご案内～

①第3回西安チャリティーウォーク

日程:1998年10月27日～11月4日(予定)

費用:27万円(予定)

内容:参加費の一部を世界遺産基金及び世界遺産である秦始皇帝陵・兵馬俑博物館を通じて、発掘・保存・研究のために寄付するウォーキング。ウォーキングは3日間あり、1日目は始皇帝陵の周辺、2日目は秦の時代の咸陽城周辺、3日目は唐の高宗と則天武後の合葬墓である乾陵周辺を歩く予定です。西安での宿泊は西北大学の留学生寮とし、大学内で秦始皇帝陵・兵馬俑博物館長袁仲一氏の講演を聞きます。1日に10キロほど歩き、秦の時代や唐の時代に思いを馳せながらのんびりと歩きます。

問い合わせ先: 歴史探検隊事務局

186-0003 国立市富士見台 2-37-9-301 長澤方

tel. 042-573-7667 fax. 042-573-7668

②ツール・ド・シルクロード1998 壮行会

日時:1998年7月12日13時より(記念講演会も有り内容は未定)

会費:4200円

会場:国立オリンピック記念青少年総合センター415号室

内容:シルクロードを20年かけて自転車での走破をめざしている「ツール・ド・シルクロード20年計画」の第6次遠征隊の壮行会。これまでの壮行会での講演は、中国サイクリングの体験談(兵庫県石子路之会代表)、海外サイクリングで注意する事(サイクルスポーツ編集長)、中国のビール事情(キリンビール国際部部長)、ウイグル語講座とウイグル族の習慣(東京女子医大へ留学しているウイグル族の医師)といったようにテーマは多彩。非会員でも参加できます。

問い合わせ先:地球と話す会事務局

住所・電話・ファックスは歴史探検隊と同じ。

<季刊「ROJIN」のご案内>

★編集方針★

ROJINは、旅行体験や取材、フィールドワークや研究などによって、アジアをテーマにしてライフワークで取り組む書き手の発表の場を確保し、小さいながらも信頼あるメディアを作っていきたいと思い刊行しました。現在、編集者、ライター、カメラマン、研究者、学生、会社員に留学生など様々な方が参加しています。

コンセプトは、人々の暮らしぶりや出来事等を通して歴史や社会、

文化、価値観などがわかる雑誌です。また・ステレオタイプからの脱却・越境の日常性・大衆文化や習慣からそこに生きる人々の価値観を見いだす・日本との関係性、の4点を原稿依頼の目安にしています。6号からは国々や地域(6号から10号)の特集に移ります。それぞれの書き手が追求するテーマや貴重な体験をいかし、今まであまり紹介されたことのなかった地域や視点に焦点をあてようと考えています。1回目は今まで、ほとんど、ひとまとまりの地域とさえ見られたことの少なかった東北アジアを取り上げます。それ以外にも、インド・中国国境部・パキスタンなどを予定しています。ご関心のある方の定期購読、編集会議への参加・執筆・協力を心よりお待ちしております。

連絡は編集部まで!

東京都国分寺市西恋ヶ窪 1-19-17-205

TEL&FAX 042-325-4288 (八尾まで)

<最新4号は好評発売中です>

巻頭座談会:表現の自由は?

中国の写真家事情を語る!

北井一夫 VS 伊藤真理 /

特集:新・学問ノススメ～アジア

留学生の視点(キルギスからの

留学生・リスベクさんも登場!)

/ モンゴル・裏切られた民主化

松田忠徳 / カルムイクから考

える 井出晃憲 / 中国シルク

ロード うちだかずひろ ほか

<5号の予告(7月刊行予定)>

5号刊行記念巻頭インタビュー:ファンキー末吉(爆風スランプ)さん

に聞く～ニッポン多文化・多民族事情～ / 特集:エスニック・コミュニ

ティーとメディアをレポートする! / 中国人慰安婦を尋ねて 語りは

じめた黄土 班忠義 / シンガポールと日本 符祝慧 / ナガランド

への道 多良照俊 / ゴールド・ラッシュを求めてきた人々 稲垣徳文

ほか

★アジア・ライターズ・クラブ(A・W・C)の会員募集★

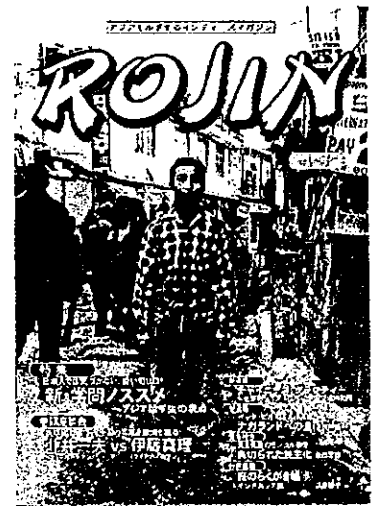
雑誌を刊行するにあたり、情報交換や相互扶助をうながすネットワーク作りを主眼とするクラブ組織として、アジア・ライターズ・クラブというライター集団を結成しました。月1回(毎月第4土曜日)定例会を開き、メンバーの報告を聞いたり、会員のインタビュー集を作ったり、企画をたて取材し本誌やホームページに発表したりしています。フリーランスのバックアップ体勢を目ざしたいと考えています。

<第10回定例会のお知らせ>

「難民の世紀 ～パレスチナ・ブータン・カンボジア難民を通してアジアを見つめる」

スピーカー 豊田直己(フォト・ジャーナリスト)

パレスチナ難民を中心に、ネパールに流入するブータン難民、カ



ンボジア紛争による難民を取材。難民・被災民を通して見た紛争の現実をみつめる。

日時:5月23日(土) 6時15分~9時30分(時間厳守)

場所:新宿区立大久保地域センター C会議室

住所:新宿区大久保 2-12-7 tel:3209-3961(内線 313)

連絡先:TEL&FAX0423-25-4288(八尾)まで

ユーラシア ニュース

◆モンゴル国大統領・バガバンディ氏が来日

日本政府の招待を受け、モンゴル国大統領バガバンディ氏夫妻が、5月11日~15日の日程で来日されました。11日には、モンゴル友好関係の7団体共催で、ホテルニューオータニにおいて歓迎レセプションが催されました。

◆東京アイヌ協会(会長浦川治造)の3事業助成決定

財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構は東京アイヌ協会が申請していた3事業の助成を決定しました。

1)チセ(アイヌの伝統的家屋)復元事業:東京五日市市に復元予定。

2)アイヌ文化体験交流事業:今年7月25-26日、新潟県小出郷文化会館で行われるユーラシア・コミュニケーション・フェスへ北海道浦河町のアイヌ文化保存会の芸能グループ派遣と奥只見銀山平での雪祭りでのアイヌ民族料理の模擬店の出店等によるアイヌ文化理解促進活動。

3)日本海対岸少数民族交流促進事業:太古の昔からアイヌと交流のあった沿海州、アムール、サハリンの少数民族との交流促進のための民族村訪問。ユーラシアンクラブと東京アイヌ協会の協力での今後の活動について検討します。9月から10月の予定。

◆野毛大道芸でモンゴルサーカス上演

横浜の新名物となった野毛大道芸が今年も4月16日~19日の日程で開催され、会場の一つ叶家前ではモンゴル国から来日したモンゴルサーカスが、優雅さとダイナミックを兼ね備えた独特なパワージャグリングと軟体アクロバットを披露しました。



クラブからのお知らせ

◆会報「ユーラシアンフォーラム」11号まもなく発行

次号会報がまもなく完成します。メインはモンゴル特集です。留学生ガンバートル君へのインタビュー、モンゴル科学アカデミーで研究する白石さんの報告など。そのほか内容盛りだくさんです。ご期待ください。

ださい。

◆ニュースレター・会報のボランティア記者募集中

クラブでは、季刊の会報「ユーラシアンフォーラム」と、月刊のニュースレター「ユーラシアンホットライン」を発行しています。現在、幅広い情報の収集のために、ボランティアの取材記者を募集しています。興味のある方はお気軽にクラブまでご連絡ください。(担当:井出)

◆クラブ会報会員募集中

クラブでは、正会員のほかに会報会員も募集しています。年会費2千円で、「ユーラシアンフォーラム」(季刊)と「ユーラシアンホットライン」(月刊)のほか、各種催し物のご案内をお送りします。また、各種ボランティア活動に参加できます。お申し込みはクラブ事務局まで。

★インターカレッジ文化講座

“国家、民族、宗教を超えて”

1998年度の文化講座が継続中です。5・6月分を掲載しました。5月は大局的な歴史の話が、6月はフィールドからの興味深い報告がうかがえることと思います。ふるってご参加下さい。

5月のテーマ<ユーラシアの潮流>

- 5月15日(金) 「文明の交差点で考える」
服部 英二/ユネスコ事務局長顧問
- 5月22日(金) 「世界史を変貌させたモンゴル」
杉山 正明/京都大学教授
- 5月29日(金) 「イスラムとトルコ民族主義の潮流」
坂本 勉/慶応大学教授

6月度 <フィールドレポート>

- 6月 5日(金) 「キルギス人の暮らしと変化」
吉田 世津子/都立大学博士課程
- 6月12日(金) 「シベリア少数民族の英雄叙事詩」
山下 宗久/千葉大学博士課程
- 6月19日(金) 「イテリメンの暮らしと言語」
小野智香子/千葉大学博士課程

- 会場 東京芸術劇場(池袋)
山手線 池袋駅下車 西口徒歩3分
- 日時 平日=6時半~8時半、土曜日=2時~4時
- 受講料などの詳細・お申し込みはクラブ事務局まで

<クラブに関するお問い合わせ先>

〒215-0013 神奈川県川崎市麻生区王禅寺 2485-2-204

TEL 044-965-2536 FAX044-965-2537

E-MAIL PAF02266@niftyserve.or.jp

ユーラシアンクラブ 神奈川事務所 大野まで